



種子島の風

自友誠
主愛実

西之表市立種子島中学校令和4年度学校便り3月(弥生)号 令和5年3月24日発行

◆新たなスタートへ

○ 有終の美を飾る

さて、小見出しの「有終の美を飾る」という言葉の語源は中国最古の詩集『詩経』の中にある「始めあらざるなし、かく終わることすくなし」という一文です。これは「多くの人のはじめのうちは熱心に取り組むが、最後までやり遂げる人は少ない」という意味があります。ここから転じて、最後まで全うすることが素晴らしいということや、最後に良い結果を残すことを意味する表現として使われるようになりました。

本日をもって、令和4年度の登校日は終わりです。慣れ親しんだクラスメイトや担任の先生との最後の時間をじっくり味わえたでしょうか。昨日の大掃除では毎日通った教室、自分の机や椅子などを次に使う人のためにきれいにできましたか。令和4年度の登校日最後である今日を「充実した日だった。」「最後にふさわしい達成感のある日だった」と振り返り、令和4年度を締めくくってもらいたいと思います。

さて、生徒の皆さんは今日でそれぞれの学年の課程を修了します。1年間の総括として受け取る「通知表」には自分自身の成長が記されているはずですが。担任の先生からいただいたら、各教科の成績はもちろんのこと、担任の先生が書かれた所見欄を家族とともにじっくり読みましょう。そして自分自身がこの1年でどんなことを頑張ったのか、保護者の方と共に振り返り、4月からの自分自身の目標を立てる参考にしてください。目標を立てたら、あとはそこに向かって準備をするのみです。春休みはあっという間に過ぎます。進級後の自分をイメージして、短い期間をしっかりとした生活のリズムで過ごしてほしいです。

そして4月にはまた、生徒の皆さんの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。



校長先生から修了証書をいただく代表生徒の1年 小田結子 さん、2年 福永梨乃 さんです。

* 恭しく、大変立派な態度で修了証書を授与された二人でした。

お世話になった先生方に感謝をこめて・・・

【県の定期人事異動により転退職される先生方】

- 教頭 地徳 友美 (志布志市立松山中学校 教頭)
- 教諭 船間 洋太郎 (出水市立高尾野中学校 教諭)
- 教諭 吉永 夕香 (日置市立伊集院北中学校 教諭)
- 教諭 久米田 晃子 (出水市立米ノ津中学校 教諭)
- 教諭 中園 祥子 (霧島市立牧之原中学校 教諭)
- 教諭 鎌田 次郎 (鹿屋市立鹿屋東中学校 教諭)
- 教諭 野崎 恵 (鹿児島市立武中学校へ 教諭)
- 教諭 竹本 めぐみ (始良市立加治木中学校 教諭)
- 教諭 有馬 みゆき (さつま町立佐志小学校 教諭)
- 教諭 鶯出 健太 (台北日本人学校 教諭)
- 講師 牧 明美 (任期満了)
- 講師 畑添 真一 (鹿児島県立蒲生高等学校 教諭)

- 池村 育恵 事務職員 (任期満了)
- 馬場 功平 技師 (任期満了)
- 柳川 さとみ 支援員 (任期満了)

お世話になった先生方とお別れは寂しいものですね。

しかし、別れは新たな出会いの始まりといえます。それぞれの先生方一人お一人の門出をお祝いし、感謝の気持ちをしっかりと伝えお見送りしましょう。